

各パートナーシップにおける自己評価



年次活動の記入シート

※「協議会からのコメント」以外は、PSにおいて記入してください

ルート名称: のしろ白神の道

申請時の活動目的

官・民・学協働のネットワーク形成し、里山の風景保存と木の香る道の創造による元気な地域づくり・まちづくりを地域住民の主体的参加と提案により推進する。

1. 今年度(H23)の活動のテーマ、現在の成熟度

- ・沿道景観整備(木製防護柵の設置=木の香る道づくり事業)
- ・歩道空間整備(歩道ウッドチップ舗装等社会実験の検証)
- ・勉強会・講習会の実施
- ・情報発信
- ・先進地視察

【成熟度記入欄】

(当てはまるものに☑ を記入)

1. 立ち上げ段階
 2. 継続化を目指している段階
 3. 発展段階
 4. 自立段階

2. 今年度(H23)の達成度

今年度の活動計画を立案し、その計画に対する活動実績を整理

	活動カテゴリー		活動の計画	活動の実績	工夫したこと・苦労したこと	達成度の評価(カテゴリー別)
	ソフト的事業 (例)	ハード的事業 (例)				
A. 多様な主体による協働の取組み	調査研究・計画策定、人材育成、連携促進・交流促進	-	・のしろ白神ネットワーク各組織の合同での懇談会実施(2ヶ月に1回実施)。 ・地域資源を活かしたまちづくり学習会の実施(1回)。	・2ヶ月に1回懇談会を実施(6回開催) ・のしろ市民まちづくりフォーラムの開催に向け調整中(H24.3.23開催予定)	・懇談会は定期的に行われ意見交換等が十分出来た。 ・フォーラムに向け調整中(講師、会場、チラシ作成等)	
B. 美しい国土景観の形成	景観形成(植栽、花植え、看板撤去等)、美化活動(清掃等)、自然環境・緑地等の保全		・国道沿線の黒松剪定会・剪定講習会の実施(剪定会2回、講習会2回) ・まちなか美化活動(2回)	・国道沿線の黒松剪定会・剪定講習会の実施(講習会6/11・10/3、剪定会6/18~6/19・10/16~10/17) ・上町ほっとステーション周辺の植栽実施(6/10,6/26)	・高齢者への安全対策の徹底 ・能代西高等学校園芸部の協力、西大通商店街女性部と連携し花いっぱい活動の推進	
C. 地域活性化への寄与	地域コミュニティの再生、収益事業・イベントの企画・実施、地域貢献等	休憩施設・ビューポイント整備、駐車場・遊歩道整備、アクセス道整備、情報ネットワーク・基盤整備等	・中心市街地にぎわいづくりと「木材と環境のまちづくり」を提案する市民参加型のイベント(のしろまち灯り)を実施(2回)。 ・地域の顔となる歩行空間の創出のため、H22ウッドチップ舗装施工箇所への木製防護柵設置(木の香る道づくり事業)。	・8/5のしろまち灯り(夏)を実施 ・2/11のしろまち灯り(冬)を実施 ・ウッドチップ及び木質平板ブロックを活用した歩道空間整備箇所に木製乱横断防止柵及び木製スノーポールが設置され、より一層の木材による空間が整備された	・回数を重ねることより、参加者が増え、会場に入りきれず歩道に人が溢れる状況が見られた。今後、歩道の安全対策等の検討が必要。 ・まち灯り(冬)は気温が低く、強風のため人手は昨年より少なかった。	
D. 観光振興への寄与	観光資源の情報発信・PR、体験ツアー等の企画・実施、観光ガイドの実施等		・歴史資源(手這坂)の補修・保全 ・「のしろ白神の道ルートマップ」「JAFなび」の活用・更新 ・SA及び道の駅へのパネル等の展示によるイベントPR ・能代カップ等観光イベントへの参加・協力	・補助事業に採択され、補修・保全活動の実施ができた。 ・イベントPR及びイベント協力を実施することが出来た	・継続的な活動資金調達及び参加者増加について検討が必要。	
今年度の活動の達成度						

3. 今年度(H22)の活動による風景街道の構成要素の質の向上
 今年度活動した結果を踏まえて、構成要素の現状を整理(再認識)

日本風景街道の構成要素		活動による風景街道の構成要素の質の変化	構成要素ごとの質の向上
①地域資源	景観、自然、歴史、文化、体験・交流、施設・情報	手這坂歴史資源の改修・保全のための継続的な活動資金調達が課題。今後観光資源につなげていくためにも資金調達及び参加者増加の検討を実施する必要がある。	
②活動主体	地域住民、NPO、町内会・自治会、地方公共団体、道路管理者等	2ヶ月に1回実施している懇談会や各イベントを通じて、全体の意思統一が図れている。PS協働による活動が実施されてきている。	
③活動内容	道路での活動、沿道や周辺地域での活動、道路ならびにその沿道や周辺地域での活動	のしろまち灯りは回数を重ねる毎に参加者も増え、内容や質の向上が図られてきていると思う。ウッドチップや木質平板ブロックを活用し、景観を考慮した歩道整備を社会実験として昨年度実施し、今年度は木の香る道づくり事業(国交省事業)によりPS提案の木製乱横断防止柵及び木製スノーボールの設置が行われた。	
③活動の場	質の高い風景を形成する場、ドライブや散策を楽しむ場、生活し働く場等	景観向上の一環として実施している国道7号沿いの黒松剪定(及び講習会)は、作業を行う際の安全面にも配慮していることから、質や内容の向上が図られてきていると思う。	
風景街道の構成要素の質の向上			

4. 来年度(H24)の活動の方針、東北風景街道協議会への要望事項等

【H24活動内容】
 ・これまでの活動(イベント等)を継続的に実施し、地域への浸透を図る。そのためには、年々質や内容の向上を図っていくことが必要と考えている。

【要望事項】
 ・景観整備等活動実施後の委員による評価をいただきたく、今後も継続して委員派遣をお願いしたい。(H24.5月以降)
 ・活動資金調達が難しく、活動が思うように進まない分野もある。再度資金的なバックアップ及び情報提供等をお願いしたい。
 ・木の香る道づくり事業の情報提供及び連携方法の在り方の情報提供をお願いしたい。

協議会からのコメント

年次活動の記入シート

※「協議会からのコメント」以外は、PSにおいて記入してください

ルート名称: ふくしま浜街道ハッピーロード

申請時の活動目的

福島県市民及び広く一般市民に対して、まち・みち・地域づくりの推進活動等に関する事業を行い、楽しく住みやすい地域社会の実現などに寄与することを目的とする。

1. 今年度(H23)の活動のテーマ、現在の成熟度

- ①まちづくり・みちづくりの推進を図る。
- ②環境の保全を図る。
- ③子どもたちの健全育成と社会参画を図る。
- ④ふるさとの風景を守り育てる活動を図る。
- ⑤原発被災地域の子供たちの笑顔を取り戻す活動を図る。

【成熟度記入欄】
(当てはまるものに☑を記入)

- 1. 立ち上げ段階
- 2. 継続化を目指している段階
- 3. 発展段階
- 4. 自立段階

2. 今年度(H23)の達成度

今年度の活動計画を立案し、その計画に対する活動実績を整理

	活動カテゴリー		活動の計画	活動の実績	工夫したこと・苦労したこと	達成度の評価(カテゴリー別)
	ソフト的事業 (例)	ハード的事業 (例)				
A. 多様な主体による協働の取組み	調査研究・計画策定、人材育成、連携促進・交流促進	-	・地域づくりに関する独自の勉強会を開催(2回) ・被災地からの現状発信のため被災講演会を実施(5回)	・H23.4.23 こども環境学会 ・H23.5.8りんごの木幼稚園 ・H23.6.9国土技術開発センター ・H23.6.20千葉大学 ・H23.6.25三重県尾鷲市 ・H23.6.26三重県鈴鹿市 講演6回	・被災地からの実体験を基にした生の声を発信するため、避難所訪問を実施し、現状の把握に努めた。	<p>満足いく活動が全く出来なかった ←→ 大変満足いく活動が出来た</p>
B. 美しい国土景観の形成	景観形成(植栽、花植え、看板撤去等)、美化活動(清掃等)、自然環境・緑地等の保全		・地域の高校生らとともに、福島県浜通り地方の国道6号の道路清掃活動を実施する(1回) ・地域の高校生らとともに国道6号花壇等の植栽活動を実施する(1回)	・H24.1.21 第2回ハイスクールサミットin東北を開催 ・H24.2.19 高校生による総理大臣訪問を主催		<p>満足いく活動が全く出来なかった ←→ 大変満足いく活動が出来た</p>
C. 地域活性化への寄与	地域コミュニティの再生、収益事業・イベントの企画・実施、地域貢献等	休憩施設・ビューポイント整備、駐車場・遊歩道整備、アクセス道整備、情報ネットワーク・基盤整備等	・原発被災者の政府関係機関への陳情活動を支援(1回) ・被災高校生によるディベート大会を開催し、地域間交流の輪を広げる(1回)	・H23.7.12 『ふたばぐんの住民を忘れるな』緊急総決起大会を主催 ・H23.7.18~8.8 『アロハ・イニシャティブ』に参加し避難生活の子供たちを支援		<p>満足いく活動が全く出来なかった ←→ 大変満足いく活動が出来た</p>
D. 観光振興への寄与	観光資源の情報発信・PR、体験ツアー等の企画・実施、観光ガイドの実施等		・地区内道の駅(四倉・南相馬・相馬)を利用し、パネル展示を通じて活動PRを行う ・原発事故避難生活記録の発刊を行う ・HPの見直しを行い、情報発信の再興を実施する。	・HPの見直しを実施し、活動報告ブログを開設。		<p>満足いく活動が全く出来なかった ←→ 大変満足いく活動が出来た</p>
今年度の活動の達成度	<p>満足いく活動が全く出来なかった ←→ 大変満足いく活動が出来た</p>					

3. 今年度(H23)の活動による風景街道の構成要素の質の向上
 今年度活動した結果を踏まえて、構成要素の現状を整理(再認識)

日本風景街道の構成要素		活動による風景街道の構成要素の質の変化	構成要素ごとの質の向上
①地域資源	景観、自然、歴史、文化、体験・交流、施設・情報	・交流の場が広がり交流が全国規模となりつつある。(全国高校生サミットの提案)	
②活動主体	地域住民、NPO、町内会・自治会、地方公共団体、道路管理者等	・東京電力原発事故に伴う市町村帰還状況に鑑み、ゼロからの出発とならざるを得ない。	
③活動内容	道路での活動、沿道や周辺地域での活動、道路ならびにその沿道や周辺地域での活動	・常磐道、国道6号の早期開通を視野に入れ、質の向上を図る。	
③活動の場	質の高い風景を形成する場、ドライブや散策を楽しむ場、生活し働く場等		
風景街道の構成要素の質の向上			

4. 来年度(H24)の活動の方針、東北風景街道協議会への要望事項等

協議会からのコメント

年次活動の記入シート

※「協議会からのコメント」以外は、PSIにおいて記入してください

ルート名称: みちのくおとぎ街道

申請時の活動目的

”おとぎ”文化(民話・物語・伝承)の発掘と継承を推進し、地域内連携交流の拡大と観光客誘致の促進を図るため、効果的PR活動と情報発信努めると共に、「みちのくおとぎ街道」にふさわしい景観・空間づくりを目指す。

1. 今年度(H23)の活動のテーマ、現在の成熟度

「みちのくおとぎ街道」のイメージアップを図るため、スタンプラリーの継続実施や広告媒体(インターネット/テレビ/ラジオ/新聞/旅行雑誌等)を活用した宣伝活動を行うとともに、首都圏や仙台圏を中心としたゆうきやくじしのため、JR企画等に協力しながら、観光客誘致活動を行う。また、宮城県及び山形県に置いて展開される広域的な各種キャンペーン等と積極的に連携し、新たな観光開発及び交流人口拡大への取組に努める。

【成熟度記入欄】
(当てはまるものに☑を記入)

- 1. 立ち上げ段階
- 2. 継続化を目指している段階
- 3. 発展段階
- 4. 自立段階

2. 今年度(H22)の達成度

今年度の活動計画を立案し、その計画に対する活動実績を整理

	活動カテゴリー		活動の計画	活動の実績	工夫したこと・苦労したこと	達成度の評価(カテゴリー別)
	ソフト的事業 (例)	ハード的事業 (例)				
A. 多様な主体による協働の取組み	調査研究・計画策定、人材育成、連携促進・交流促進	-	・語り部育成事業(語り部発表会)の実施	・語り部育成事業(語り部発表会)の実施	語り部の発表の場を設定することで、意欲と語術の向上につながるよう工夫した。	
B. 美しい国土景観の形成	景観形成(植栽、花植え、看板撤去等)、美化活動(清掃等)、自然環境・緑地等の保全		特になし			
C. 地域活性化への寄与	地域コミュニティの再生、収益事業・イベントの企画・実施、地域貢献等	休憩施設・ビューポイント整備、駐車場・遊歩道整備、アクセス道整備、情報ネットワーク・基盤整備等	特になし			
D. 観光振興への寄与	観光資源の情報発信・PR、体験ツアー等の企画・実施、観光ガイドの実施等		・JR等エージェント企画とタイアップした誘客宣伝活動 ・スタンプラリーの実施 ・インターネット、ホームページの充実活用	・スタンプラリーの実施 ・インターネット、ホームページの充実活用	ホームページのアクセス数を上げるため、温泉宿泊ペアー券プレゼント等を企画した。また、スタンプラリーも同様地場産品や温泉宿泊券等のプレゼントを充実した。	
今年度の活動の達成度						

3. 今年度(H22)の活動による風景街道の構成要素の質の向上
 今年度活動した結果を踏まえて、構成要素の現状を整理(再認識)

日本風景街道の構成要素		活動による風景街道の構成要素の質の変化	構成要素ごとの質の向上
①地域資源	景観、自然、歴史、文化、体験・交流、施設・情報	地域資源の発掘調査を通じ、県境を越えた公益的観光の重要性を再確認し、地域資源の質は向上したと思う	
②活動主体	地域住民、NPO、町内会・自治会、地方公共団体、道路管理者等	観光協会等が連携をとり、公益的に活動がはかられたと思う	
③活動内容	道路での活動、沿道や周辺地域での活動、道路ならびにその沿道や周辺地域での活動		
③活動の場	質の高い風景を形成する場、ドライブや散策を楽しむ場、生活し働く場等		
風景街道の構成要素の質の向上			

4. 来年度(H23)の活動の方針、東北風景街道協議会への要望事項等

協議会からのコメント

年次活動の記入シート

※「協議会からのコメント」以外は、PSIにおいて記入してください

ルート名称: 菅江真澄と巡るあきたの道

申請時の活動目的

江戸時代の紀行家・菅江真澄が残した足跡(過去の風景や食文化等)と、今も変わらぬ秋田の魅力ある観光資源を比較するような、知的好奇心を満たす観光振興および、それらの足跡や資源を結ぶ「道」を通じた人と人との交流を図

1. 今年度(H23)の活動のテーマ、現在の成熟度

昨年まで活動の中心としていた男鹿半島をフィールドにして、菅江真澄の足跡を基にした新たな観光資源を醸成する。	【成熟度記入欄】 (当てはまるものに☑を記入) <input type="checkbox"/> 1. 立ち上げ段階 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 継続化を目指している段階 <input type="checkbox"/> 3. 発展段階 <input type="checkbox"/> 4. 自立段階
---	--

2. 今年度(H23)の達成度

今年度の活動計画を立案し、その計画に対する活動実績を整理

	活動カテゴリー		活動の計画	活動の実績	工夫したこと・苦労したこと	達成度の評価(カテゴリー別)
	ソフト的事業 (例)	ハード的事業 (例)				
A. 多様な主体による協働の取組み	調査研究・計画策定、人材育成、連携促進・交流促進	-	地元の民間団体や行政と協議会をつくっているが、新たな活動は1件のみだった。	菅江真澄の「食」記録を参考にして「おがラシク」というラスクを開発した。	真澄の記録から、居間に通じる「食」の記録を特定するのに苦労した。	
B. 美しい国土景観の形成	景観形成(植栽、花植え、看板撤去等)、美化活動(清掃等)、自然環境・緑地等の保全		特になし。	特になし。	特になし。	
C. 地域活性化への寄与	地域コミュニティの再生、収益事業・イベントの企画・実施、地域貢献等	休憩施設・ビューポイント整備、駐車場・遊歩道整備、アクセス道整備、情報ネットワーク・基盤整備等	昨年度同様、男鹿半島で取り組んでいるジオパークとの連携を計画した。	しかし、ジオパークの取り組みに多様な要素があり、今年度は真澄を組み込むことを実現できなかった。	ジオパークに組み込む努力をしたが、そのタイミングがうまく行かなかった。	
D. 観光振興への寄与	観光資源の情報発信・PR、体験ツアー等の企画・実施、観光ガイドの実施等		同上	同上	同上	
今年度の活動の達成度						

3. 今年度(H23)の活動による風景街道の構成要素の質の向上
 今年度活動した結果を踏まえて、構成要素の現状を整理(再認識)

日本風景街道の構成要素		活動による風景街道の構成要素の質の変化	構成要素ごとの質の向上
①地域資源	景観、自然、歴史、文化、体験・交流、施設・情報	スタート時は秋田県の広域での取り組みだったが、対象地域は徐々に男鹿半島に集約されてきた。理由は地域の人たちの熱心さがあったためだが、今年度はあまり活発な活動は出来ず、そのため地域資源の新たな開発はあまり図れなかった。	
②活動主体	地域住民、NPO、町内会・自治会、地方公共団体、道路管理者等	NPO、地域団体、研究団体、地方自治体、	
③活動内容	道路での活動、沿道や周辺地域での活動、道路ならびにその沿道や周辺地域での活動	道路との関連性はなかった。	
③活動の場	質の高い風景を形成する場、ドライブや散策を楽しむ場、生活し働く場等	今年度はアウトドアでの活動はほとんどなかった。	
風景街道の構成要素の質の向上			

4. 来年度(H24)の活動の方針、東北風景街道協議会への要望事項等

今年度はジオパークとの組み合わせを進めたい。また9月に男鹿半島で菅江真澄の全国集会があり、テーマは「真澄と観光」になりそうなので連携を図って行きたい。協議会メンバーが多く参加して、秋田県と「新しい公共」の取り組みを行っている。テーマは「災害に強い男鹿の地域づくり」で、菅江真澄の記録も活用する計画。「防災観光」をめざしているので、風景街道との関連の可能性も出てくるだろう。

協議会からのコメント

年次活動の記入シート

※「協議会からのコメント」以外は、PSにおいて記入してください

ルート名称: 桑折宿まちなか街道

申請時の活動目的

奥州街道・羽州街道の追分のある桑折宿とその周辺を対象に歴史的な資産を活用した魅力と活力のある地域づくりを推進する。

1. 今年度(H23)の活動のテーマ、現在の成熟度

- ・ホテルという地域資源を通して、街道連携を図る。
- ・ホテル生息環境維持及び産ヶ沢川環境整備の検討
- ・まちなかの回遊性を高め、賑わい創出を図る。

【成熟度記入欄】
(当てはまるものに☑を記入)

1. 立ち上げ段階
 2. 継続化を目指している段階
 3. 発展段階
 4. 自立段階

2. 今年度(H23)の達成度

今年度の活動計画を立案し、その計画に対する活動実績を整理

	活動カテゴリー		活動の計画	活動の実績	工夫したこと・苦労したこと	達成度の評価(カテゴリー別)
	ソフト的事業 (例)	ハード的事業 (例)				
A. 多様な主体による協働の取組み	調査研究・計画策定、人材育成、連携促進・交流促進	-	・ホテル鑑賞散策路調査検討 ・地域づくりフォーラムの開催(3月)	・ホテル鑑賞散策路の一部整備検討会の開催(10月21日) ・フォーラムについては現在のところ未定	震災の影響により、各種事業が停滞した。	満足いく活動が全く出来なかった ← 大変満足いく活動が出来た 1 2 3 4 5
B. 美しい国土景観の形成	景観形成(植栽、花植え、看板撤去等)、美化活動(清掃等)、自然環境・緑地等の保全		・ホテル生息地美化活動(他団体への協)	・ホテル生息地美化活動への協力(10月30日実施、参加者40名)	・例年、子供たちと一緒に美化活動を行っているが、原発事故の影響により、参加者も少なかった。	満足いく活動が全く出来なかった ← 大変満足いく活動が出来た 1 2 3 4 5
C. 地域活性化への寄与	地域コミュニティの再生、収益事業・イベントの企画・実施、地域貢献等	休憩施設・ビューポイント整備、駐車場・遊歩道整備、アクセス道整備、情報ネットワーク・基盤整備等	・竹灯籠まつりへの協力(10月) ・雛飾りの町並み展示会の開催(2月から3月)	・竹灯籠祭りへの後援・協力(10月15日) ・雛飾りの町並み展示会の後援・協力(2月11日から3月4日)	・震災により店蔵が被災され、解体されたものや廃業をした店舗もあり、協力者の確保が大変だった。	満足いく活動が全く出来なかった ← 大変満足いく活動が出来た 1 2 3 4 5
D. 観光振興への寄与	観光資源の情報発信・PR、体験ツアー等の企画・実施、観光ガイドの実施等		・飯坂温泉ホテル鑑賞ツアー受入 ・桃狩りツアー受入 ・桑折学読本を活用した観光案内ボランティアの育成 ・推奨土木遺産「西根堰」を活用したウォーキング事業等の展開	・飯坂温泉ホテル鑑賞ツアー受入 ・「選奨土木遺産「西根堰」巡り健康ウォーク」の後援・協力(8月21日、9月25日、10月30日実施) ・「健康維持・増進の体験講座」の後援・協力(7月31日、9月11日、11月20日実施)	・原発の影響により、桃狩りは中止とした。 ・観光協会が主体となって、ボランティアを育成する予定であったが、震災の影響により実施できなかった。	満足いく活動が全く出来なかった ← 大変満足いく活動が出来た 1 2 3 4 5
今年度の活動の達成度	<p>満足いく活動が全く出来なかった ← 大変満足いく活動が出来た</p> <p>1 2 3 4 5</p>					

3. 今年度(H23)の活動による風景街道の構成要素の質の向上
 今年度活動した結果を踏まえて、構成要素の現状を整理(再認識)

日本風景街道の構成要素		活動による風景街道の構成要素の質の変化	構成要素ごとの質の向上
①地域資源	景観、自然、歴史、文化、体験・交流、施設・情報	・街道沿いの店蔵が震災により被災し、街並み景観に変化が生じた。街道を活かしたまちづくりを進める上で、影響が出ており、どのような展開をすればいいのかが検討しなければならない。 ・放射能汚染により自然界のダメージも大きく、除染活動の実施により、安心・安全なまちづくりを進めなければならない。	全く質が向上していない ←————→ 大いに質が向上した 1 ② 3 4 5
②活動主体	地域住民、NPO、町内会・自治会、地方公共団体、道路管理者等	震災復興のため、行政機関に頼ることもできないので、関係団体が積極的に事業を展開しなければならない。	全く質が向上していない ←————→ 大いに質が向上した 1 2 ③ 4 5
③活動内容	道路での活動、沿道や周辺地域での活動、道路ならびにその沿道や周辺地域での活動	・原発事故による放射能汚染の除染が必要であり、積極的な活動はできない。	全く質が向上していない ←————→ 大いに質が向上した 1 ② 3 4 5
③活動の場	質の高い風景を形成する場、ドライブや散策を楽しむ場、生活し働く場等	・震災により、街並み景観に変化が生じ、様相が一変した。残った史跡・寺院などを活用した事業を展開する必要がある。	全く質が向上していない ←————→ 大いに質が向上した 1 ② 3 4 5
風景街道の構成要素の質の向上		全く向上していない ←————→ 大いに質が向上した 1 ② 3 4 5	

4. 来年度(H24)の活動の方針、東北風景街道協議会への要望事項等

次年度以降も各種イベントに積極的に協力し、震災復興の一助となるような活動を行いたい。

協議会からのコメント

年次活動の記入シート

※「協議会からのコメント」以外は、PSIにおいて記入してください

ルート名称: 忘れられた道造りの歴史と絶景を「江戸の旅日記から感じる道」

申請時の活動目的

江戸の旅芸人・藤原衆英(繁太夫)が綴った旅日記「筆満可勢」が伝える庶民の暮らしや風景などをキーワードに、国道46号や106号沿線地域の景観や風景を改善し、エリア内の地域活性化と観光振興に寄与する。

1. 今年度(H23)の活動のテーマ、現在の成熟度

活動5年目の平成23年度は、活動資金の問題、3月11日に起こった東日本大震災で多大な被害を受けた宮古市の現状もあり、新たなテーマに取りかかるのはかなり難しい。今年度は例年実施していた草刈り・「106の日ウオーク」等の実施を目指したい。

【成熟度記入欄】
(当てはまるものに☑ を記入)

- 1. 立ち上げ段階
- 2. 継続化を目指している段階
- 3. 発展段階
- 4. 自立段階

2. 今年度(H23)の達成度

今年度の活動計画を立案し、その計画に対する活動実績を整理

	活動カテゴリー		活動の計画	活動の実績	工夫したこと・苦労したこと	達成度の評価(カテゴリー別)
	ソフト的事業 (例)	ハード的事業 (例)				
A. 多様な主体による協働の取組み	調査研究・計画策定、人材育成、連携促進・交流促進	-	・勉強会への参加	・10月15日、雫石町秋田往來の明治の道の調査を実施	・今回は天候が悪かったが、毎年少しでも調査を続ける事が大事なので実施。	
B. 美しい国土景観の形成	景観形成(植栽、花植え、看板撤去等)、美化活動(清掃等)、自然環境・緑地等の保全		・遊歩道や沿線沿いの草刈り	・ゴミゼロの日の活動(5月30日雫石町)	・例年雫石町を中心に行っている活動に協力	
C. 地域活性化への寄与	地域コミュニティの再生、収益事業・イベントの企画・実施、地域貢献等	休憩施設・ビューポイント整備、駐車場・遊歩道整備、アクセス道整備、情報ネットワーク・基盤整備等	・探訪会の開催	・「106ウオーキング」の実施(築川道路見学ととりおか歴史文化館見学)	・宮古市の広報等で周知をしているので参加希望者は多い。スタッフが少ないので規模を拡大出来ない状況。毎年行っているのを、106号に関連した魅力ある企画を作る事が大事である。	
D. 観光振興への寄与	観光資源の情報発信・PR、体験ツアー等の企画・実施、観光ガイドの実施等		・ホームページの加除	・雫石街道の調査の結果を岩手考古学会に発表。その内容を(全24ページ)ホームページに掲載。 ・BSTBS放送の「につぼん歴史街道」にて国見峠について取材があり協力(6月19日)、7月に放映。	・BSTBSの放送内容はDVDにして、雫石町役場などにも貸出し、町の広報等にも利用してもらっている。	
今年度の活動の達成度						

3. 今年度(H23)の活動による風景街道の構成要素の質の向上
 今年度活動した結果を踏まえて、構成要素の現状を整理(再認識)

日本風景街道の構成要素		活動による風景街道の構成要素の質の変化	構成要素ごとの質の向上
①地域資源	景観、自然、歴史、文化、体験・交流、施設・情報	・今までの活動の結果、雫石地域・盛岡を中心とした地域・宮古を中心とした地域の魅力を取り上げたリーフレット等を作成、ある程度広報もしているが、全体としての統一イメージを作るのが難しい。	
②活動主体	地域住民、NPO、町内会・自治会、地方公共団体、道路管理者等	・120kmにわたっている地域の、一体感を持って活動をする意識を作ることが課題。	
③活動内容	道路での活動、沿道や周辺地域での活動、道路ならびにその沿道や周辺地域での活動	・今回の震災を経て、特に宮古地域での一般的な活動(草取り等)がなかなか取りかかるのが大変な状況になっている。	
③活動の場	質の高い風景を形成する場、ドライブや散策を楽しむ場、生活し働く場等	・地域の観光の拠点、安全安心の拠点としての「道の駅」の存在がますます大きくなっていくと思う。「道の駅」の設備等の充実が大事。	
風景街道の構成要素の質の向上			

4. 来年度(H24)の活動の方針、東北風景街道協議会への要望事項等

・宮古市に、地域を知るための観光の拠点、地元の人たちとの接点、ドライバーがゆっくり休める所として「道の駅」が再び出来るように地域の人々と努力したい。

協議会からのコメント

年次活動の記入シート

※「協議会からのコメント」以外は、PSにおいて記入してください

ルート名称: 奥州街道温故知新の道

申請時の活動目的

風景街道の一環として、地域団体との連携により、岩手県内の国道4号沿線の未活用の地域資源を掘り起こし、資源活用による活動を通じて、街道景観を活かした地域づくりに寄与することを目的とする。

1. 今年度(H23)の活動のテーマ、現在の成熟度

3月の震災発生により、昨年度末に予定していた「奥州街道を歩く会」や、街道調査・復元活動は延期せざるを得なくなった。そのため、今年度は震災による影響を考慮しながら、昨年度未実施であった街道の調査・復元活動の実施のみを実施目標とし、地域との協働体制の継続を図るものである。

【成熟度記入欄】
(当てはまるものに☑ を記入)

- 1. 立ち上げ段階
- 2. 継続化を目指している段階
- 3. 発展段階
- 4. 自立段階

2. 今年度(H23)の達成度

今年度の活動計画を立案し、その計画に対する活動実績を整理

	活動カテゴリー		活動の計画	活動の実績	工夫したこと・苦労したこと	達成度の評価(カテゴリー別)
	ソフト的事業 (例)	ハード的事業 (例)				
A. 多様な主体による協働の取組み	調査研究・計画策定、人材育成、連携促進・交流促進	-				<p>満足いく活動が全く出来なかった ←→ 大変満足いく活動が出来た</p> <p>1 2 3 4 5</p>
B. 美しい国土景観の形成	景観形成(植栽、花植え、看板撤去等)、美化活動(清掃等)、自然環境・緑地等の保全					<p>満足いく活動が全く出来なかった ←→ 大変満足いく活動が出来た</p> <p>1 2 3 4 5</p>
C. 地域活性化への寄与	地域コミュニティの再生、収益事業・イベントの企画・実施、地域貢献等	休憩施設・ビューポイント整備、駐車場・遊歩道整備、アクセス道整備、情報ネットワーク・基盤整備等	・街道の復元活動(ウォーキングのための古道整備)	・街道歩きを楽しむ方のため、岩手県一関市の奥州街道沿いで、崩れていた古道の補修と、手づくりでの橋を設置した。 ・地元団体と支援団体が連携し実施した。	・地権者への連絡等には地元の市町村や団体の協力を得た。 ・橋の設置には、企業の協力を得ることができた。	<p>満足いく活動が全く出来なかった ←→ 大変満足いく活動が出来た</p> <p>1 2 3 4 5</p>
D. 観光振興への寄与	観光資源の情報発信・PR、体験ツアー等の企画・実施、観光ガイドの実施等					<p>満足いく活動が全く出来なかった ←→ 大変満足いく活動が出来た</p> <p>1 2 3 4 5</p>
今年度の活動の達成度	<p>満足いく活動が全く出来なかった ←→ 大変満足いく活動が出来た</p> <p>1 2 3 4 5</p>					

3. 今年度(H23)の活動による風景街道の構成要素の質の向上
 今年度活動した結果を踏まえて、構成要素の現状を整理(再認識)

日本風景街道の構成要素		活動による風景街道の構成要素の質の変化	構成要素ごとの質の向上
①地域資源	景観、自然、歴史、文化、体験・交流、施設・情報	調査・復元活動は継続して実施する必要があるが、地元の団体との連携により、実施することができた。	
②活動主体	地域住民、NPO、町内会・自治会、地方公共団体、道路管理者等	各地域団体や、自治会との連携が深まった。	
③活動内容	道路での活動、沿道や周辺地域での活動、道路ならびにその沿道や周辺地域での活動		
③活動の場	質の高い風景を形成する場、ドライブや散策を楽しむ場、生活し働く場等	・岩手県内の登録範囲での活動を行ってきたが、活動地域では発展・継続化を目指す段階にある。 より充実した活動を行うためには、他県(青森県・宮城県)との連携が必要な状況にあり、現状の登録範囲では限界がある。	
風景街道の構成要素の質の向上			

4. 来年度(H24)の活動の方針、東北風景街道協議会への要望事項等

・H24年度の活動方針 地域に定着し、地元の団体が主体的かつ自主的に活動を継続できるような支援をすること。

協議会からのコメント

年次活動の記入シート

※「協議会からのコメント」以外は、PSIにおいて記入してください

ルート名称: 青森エントランスロード

申請時の活動目的

地域の人々が誇りを持ち、訪れる人々に青森らしさを感じさせる県の顔となる景観道づくりを推進する。

1. 今年度(H23)の活動のテーマ、現在の成熟度

魅力ある青森らしさの演出
既存資源の有効活用

【成熟度記入欄】
(当てはまるものに☑ を記入)

- 1. 立ち上げ段階
- 2. 継続化を目指している段階
- 3. 発展段階
- 4. 自立段階

2. 今年度(H23)の達成度

今年度の活動計画を立案し、その計画に対する活動実績を整理

	活動カテゴリー		活動の計画	活動の実績	工夫したこと・苦労したこと	達成度の評価(カテゴリー別)
	ソフト的事業 (例)	ハード的事業 (例)				
A. 多様な主体による協働の取組み	調査研究・計画策定、人材育成、連携促進・交流促進	-		-	-	
B. 美しい国土景観の形成	景観形成(植栽、花植え、看板撤去等)、美化活動(清掃等)、自然環境・緑地等の保全		沿道の植栽活動・清掃活動(各町内会単位) 違反広告物のパトロール	各町内単位による花植え、清掃等の美化活動。 パトロール時における違反広告物の簡易除去	町内単位による花植え、清掃等の美化活動を実施しているが、自立段階には至っていない。	
C. 地域活性化への寄与	地域コミュニティの再生、収益事業・イベントの企画・実施、地域貢献等	休憩施設・ビューポイント整備、駐車場・遊歩道整備、アクセス道整備、情報ネットワーク・基盤整備等	ねぶた期間中の提灯の設置とテーブル等の設営 イルミネーションの点灯 安湯祭り等賑わいの演出	ねぶた期間中に提灯の設置、点灯とテーブル等の設営。 イルミネーションの点灯。 安湯祭り等賑わいの演出。	提灯の設置、撤去は町内の有志で実施しているが、足場の設置等に支出がある。	
D. 観光振興への寄与	観光資源の情報発信・PR、体験ツアー等の企画・実施、観光ガイドの実施等			-	-	
今年度の活動の達成度						

3. 今年度(H23)の活動による風景街道の構成要素の質の向上
 今年度活動した結果を踏まえて、構成要素の現状を整理(再認識)

日本風景街道の構成要素		活動による風景街道の構成要素の質の変化	構成要素ごとの質の向上
①地域資源	景観、自然、歴史、文化、体験・交流、施設・情報	特になし。	
②活動主体	地域住民、NPO、町内会・自治会、地方公共団体、道路管理者等	認識は向上したものの活動へは直接つながっていない。	
③活動内容	道路での活動、沿道や周辺地域での活動、道路ならびにその沿道や周辺地域での活動	特になし。	
③活動の場	質の高い風景を形成する場、ドライブや散策を楽しむ場、生活し働く場等	特になし。	
風景街道の構成要素の質の向上			

4. 来年度(H24)の活動の方針、東北風景街道協議会への要望事項等

特になし。

協議会からのコメント

年次活動の記入シート

※「協議会からのコメント」以外は、PSIにおいて記入してください

ルート名称: 巢子の松街道

申請時の活動目的
「巢子の松街道」を市民団体と道路管理者などが協働で管理・保全・整備していくことによって、国道の安全確保と松並木・雄大な景観の保全、“鹿角街道”の復古を図る。

1. 今年度(H23)の活動のテーマ、現在の成熟度

<ul style="list-style-type: none"> ・自然および地域環境と調和した貴重な並木を持続させる取り組みを進める ・地域における自然・歴史遺産としての大切さについて認識を深める 	<p>【成熟度記入欄】 (当てはまるものに <input checked="" type="checkbox"/> を記入)</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 立ち上げ段階 <input type="checkbox"/> 2. 継続化を目指している段階 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 発展段階 <input type="checkbox"/> 4. 自立段階</p>
---	---

2. 今年度(H23)の達成度 今年度の活動計画を立案し、その計画に対する活動実績を整理

	活動カテゴリー		活動の計画	活動の実績	工夫したこと・苦労したこと	達成度の評価(カテゴリー別)
	ソフト的事業 (例)	ハード的事業 (例)				
A. 多様な主体による協働の取組み	調査研究・計画策定、人材育成、連携促進・交流促進	—	・松並木生態系調査の一環としての生き物地図作り(2回) ・滝沢村の環境パートナー活動との連携による並木の保全活動(1回)	・生き物地図作りを2回(9/12,12/10)実施 ・滝沢環境パートナー活動との連携は不実施	・生き物地図作りへの参加者は会員のみで少数だったが、松並木の樹林の調査がほぼ完了できた ・大震災被害で4月の例会を休止せざるを得なかった	
B. 美しい国土景観の形成	景観形成(植栽、花植え、看板撤去等)、美化活動(清掃等)、自然環境・緑地等の保全	—	・並木を歩こう観察会をゴミ拾い活動も併せて実施(1回) ・並木点検路(フットパス)周辺やビューポイントの草刈り等の整備(2回) ・空き地植樹箇所(2区画)の下刈り(3回) ・倒壊危険木の点検活動の継続(3回)	・観察会を実施(5/8) ・点検路の草刈り2回(6/12,10/8)と番舎周辺の環境整備(7/10) ・植樹箇所の下草刈り3回(6/12,9/11,10/1) ・並木樹木の点検活動3回(1/15,2/12,予定3/11)	・植樹箇所は以前に長期放置の荒地地だったため雑草の繁茂が旺盛で、雑草に覆い尽くされた苗木が一部枯死した ・2010-2011年正月豪雪で倒壊木が多数発生し、その処理等で並木の環境が劣化したため、今年から全木の再調査に着手	
C. 地域活性化への寄与	地域コミュニティの再生、収益事業・イベントの企画・実施、地域貢献等	休憩施設・ビューポイント整備、駐車場・遊歩道整備、アクセス道整備、情報ネットワーク・基盤整備等	・点検路の延伸ルートを設計する	・未実施	・点検路延伸は国道拡幅整が完了するまで実施しないことにした ・ビューポイント標識の杭木が1本、腐朽により倒れ、修復が必要となる	
D. 観光振興への寄与	観光資源の情報発信・PR、体験ツアー等の企画・実施、観光ガイドの実施等	—	・HPの改良・更新 ・リーフレットの普及	・HP改良は未実施 ・リーフレットとフィールド探索ノートを希望者に5部配布	・取り組み不十分	
今年度の活動の達成度						

3. 今年度(H23)の活動による風景街道の構成要素の質の向上
 今年度活動した結果を踏まえて、構成要素の現状を整理(再認識)

日本風景街道の構成要素		活動による風景街道の構成要素の質の変化	構成要素ごとの質の向上
①地域資源	景観、自然、歴史、文化、体験・交流、施設・情報	点検路(フットパス)の手入れ、植樹、危険木の点検・処理などの継続によって、並木の景観や生態系の資源内容が維持・向上	
②活動主体	地域住民、NPO、町内会・自治会、地方公共団体、道路管理者等	<ul style="list-style-type: none"> ・PSメンバーに加え民間の国道維持業者がCSR活動で積極的に参加しており、危険木処理に際しての細かな打合せができるため並木の保全に大きく寄与 ・たきざわ環境パートナー会議との連携を目指す 	
③活動内容	道路での活動、沿道や周辺地域での活動、道路ならびにその沿道や周辺地域での活動	活動についての啓発、活動の拡がりが課題	
③活動の場	質の高い風景を形成する場、ドライブや散策を楽しむ場、生活し働く場等	並木の点検路が散策路(フットパス)に利用されており、歩きやすいように手入れを継続	
風景街道の構成要素の質の向上			

4. 来年度(H24)の活動の方針、東北風景街道協議会への要望事項等

【24年度の活動方針】 並木の観察会や樹箇所の下刈り活動などを広く呼び掛けて実施したい。点検路の手入れ作業、並木全樹木の調査・点検を継続。月1回の定例活動を進めていく。

協議会からのコメント

年次活動の記入シート

※「協議会からのコメント」以外は、PSにおいて記入してください

ルート名称: 出羽の古道 六十里越街道

申請時の活動目的

「六十里越街道」を村山と庄内を結ぶ文化的資源として整備保存・活用することを目的とする。

1. 今年度(H23)の活動のテーマ、現在の成熟度

- ・六十里越街道の学習・啓発・PR事業の推進
- ・六十里越街道の整備事業の推進(案内板・史跡の発掘)
- ・主催・共催トレッキングの開催
- ・さらなる広域連携の推進

【成熟度記入欄】
(当てはまるものに を記入)

- 1. 立ち上げ段階
- 2. 継続化を目指している段階
- 3. 発展段階
- 4. 自立段階

2. 今年度(H23)の達成度

今年度の活動計画を立案し、その計画に対する活動実績を整理

	活動カテゴリー		活動の計画	活動の実績	工夫したこと・苦労したこと	達成度の評価(カテゴリー別)
	ソフト的事業 (例)	ハード的事業 (例)				
A. 多様な主体による協働の取組み	調査研究・計画策定、人材育成、連携促進・交流促進	—	・沿線住民に対する活動報告会の開催(3回) ・歴史文化学習会(シリーズ8回) ・湯殿山信仰にまつわる研修会(1回)	・沿線住民に対する活動報告会の開催 ・六十里越街道歴史研修会の開催 ・街道トレッキングと地元特産品販売団体との連携及び二次交通確保の研究並びに道の駅「月山」との連携事業の実施	・広域連携合意形成	
B. 美しい国土景観の形成	景観形成(植栽、花植え、看板撤去等)、美化活動(清掃等)、自然環境・緑地等の保全		・国の緊急雇用制度を活用し街道の巡回点検業務の実施(6月～10月) ・アルゴディア苦楽歩との連携による街道の整備活動の実施 ・街道刈払い・整備事業 ・街道刈払い・整備事業	・国の緊急雇用制度を活用し街道の巡回点検業務の実施(6月～11月) ・アルゴディア苦楽歩との連携による街道の整備活動の実施 ・街道刈払い・整備事業(婦人会、ロータリークラブ等との連携) ・花咲く里山整備事業(十王峠大山桜植栽=出羽商工会連携事業)	・ボランティア作業のシステム化	
C. 地域活性化への寄与	地域コミュニティの再生、収益事業・イベントの企画・実施、地域貢献等	休憩施設・ビューポイント整備、駐車場・遊歩道整備、アクセス道整備、情報ネットワーク・基盤整備等	・国道横断施設の要望活動 ・街道周辺環境整備(2箇所)大型バス運行対応のため、市道の拡幅及びUターン場所整備工事(電源立地地域対策交付金事業)	・要望活動は、震災の影響から、積極的な活動を自粛 ・電源立地地域対策交付金事業を活用し、街道周辺環境整備(2箇所)大型バス運行対応のため、市道の拡幅及びUターン場所の整備	・関係機関等への要望、調整作業	
D. 観光振興への寄与	観光資源の情報発信・PR、体験ツアー等の企画・実施、観光ガイドの実施等		・街道まつりの開催(9/18) ・街道案内板の補修 ・とうほく街道会議への参加(10/14～15) ・トレッキング企画実施 ・街道ガイド研修実施 ・月山志津400年祭 ・街道フォーラムの開催(10/22～23)	・街道まつりの開催(9/18) ・とうほく街道会議への参加(10/14～15)・街道フォーラムの開催(10/22～23) ・トレッキング企画実施 ・街道ガイド研修会の実施(10/29) ・文化財指定への取組み研修会(11/13) ・六十里越街道トレイルランの共催(11/6)(底辺拡大)	・受入体制の整備	
今年度の活動の達成度						

3. 今年度(H23)の活動による風景街道の構成要素の質の向上
今年度活動した結果を踏まえて、構成要素の現状を整理(再認識)

日本風景街道の構成要素		活動による風景街道の構成要素の質の変化	構成要素ごとの質の向上
①地域資源	景観、自然、歴史、文化、体験・交流、施設・情報	今回3度目の沿線集落1箇所です六十里街道事業の報告会や六十里越の歴史研修会を開催し地域資源の確認、再発掘の機会となり、質の向上に結びつきました。	
②活動主体	地域住民、NPO、町内会・自治会、地方公共団体、道路管理者等	地域住民、NPO、市・町内会、観光協会、町、道路管理者等の連携、調整は回り始めている。さらに沿線エリアを拡大し、内陸と庄内の二つの観光圏の協力をいただき注連寺において街道フォーラムを開催した。	
③活動内容	道路での活動、沿道や周辺地域での活動、道路ならびにその沿道や周辺地域での活動	昨年に引き続き街道の整備作業にはボランティア作業で対応してきた。また、街道の刈払いや美化作業、埋もれている史跡の発掘、危険箇所の点検には、アルゴディア音楽歩、地元婦人会やロータリークラブの参加もシステム化してきた。	
③活動の場	質の高い風景を形成する場、ドライブや散策を楽しむ場、生活し働く場等	街道沿いの椿の名所とリンクさせ景観を楽しむスポットや休憩所の設営を継続して行った。また、広域連携により「街道フォーラム」を開催し、街道沿線で育まれた人物(映画ゴジラの監督で大綱七五三掛出身の本多猪四郎氏)にスポットをあてて実施した。	
風景街道の構成要素の質の向上			

4. 来年度(H24)の活動の方針、東北風景街道協議会への要望事項等

- ・街道を舞台に「六十里越街道トレイルラン」を継続開催し、地元若者のみならず街道に関わる底辺の拡大を目指す。
- ・国道112号月山道路横断施設の早期整備を要望により、安心安全な街道をPRし、エージェントを取り込んだ街道愛好者の増加を図り、地域経済に寄与する。
- ・二次交通確保(送迎方法)のためのノウハウの研究を継続研究する。

協議会からのコメント

年次活動の記入シート

※「協議会からのコメント」以外は、PSにおいて記入してください

ルート名称: 城下町あいづ道草街道

申請時の活動目的

中心市街地の活性化と地域コミュニティのために、ゆったりと歩いて会津の風情を再発見できるシーニックバイウエイを創出することを目的とする。その目的を達成するために既存の景観整備を進展させ、街並みの復古・再生等のハード整備を行うとともにイベント等のソフト事業との連携を図り、通りの連続性や回遊性を高める。

1. 今年度(H23)の活動のテーマ、現在の成熟度

東日本大震災後、当地では風評被害を受けて観光客が激減している。観光が主産業である会津若松市にとって大きな打撃である。これまで中心市街地の賑わいをいかに取り戻すことができるのかについて福島県、会津若松市と協議してきた。そこで今年度はシーニックバイウエイの原点に帰って「歴史街道」をテーマに掘り下げていくことにした。古地図をもとに街道を歩くイベントやシンポジウムを企画している。旧道、歴史道は交流人口の拡大につながる地域資源である。

【成熟度記入欄】

(当てはまるものに☑を記入)

- 1. 立ち上げ段階
- 2. 継続化を目指している段階
- 3. 発展段階
- 4. 自立段階

2. 今年度(H23)の達成度

今年度の活動計画を立案し、その計画に対する活動実績を整理

	活動カテゴリー		活動の計画	活動の実績	工夫したこと・苦労したこと	達成度の評価(カテゴリー別)
	ソフト的事業 (例)	ハード的事業 (例)				
A. 多様な主体による協働の取組み	調査研究・計画策定、人材育成、連携促進・交流促進	-	登録団体の「のしろ白神ネットワーク」とは、お互いに訪問し合いまちづくりの取り組みについて交流を図ってきたが、今回の大震災では「のしろ白神ネットワーク」が会津の特産品を販売するなどの支援があり、現在も継続している。大変感謝している。	平成23年5月16日に能代市の日吉神社・嫁見まつりで会津の特産品を販売してもらい「のしろ白神ネットワーク」から売上げ金62,150円を城下町あいづ道草街道推進協議会を通じて会津若松市長に義援金として送っていただいた。	会津の特産品の選別に悩んだが、能代市民から復興支援いただけたことは望外の喜びであった。	
B. 美しい国土景観の形成	景観形成(植栽、花植え、看板撤去等)、美化活動(清掃等)、自然環境・緑地等の保全		福島第一原発の事故による放射線量の測定が必要であるために、現在はパートナーシップの団体では活動を見合わせている。	会津若松市は放射線量が低く、安全基準内にあるものの、花植えや道路の美化活動は自粛している。	会津は放射性物質を除洗する対象地域になっていないが、まだ不安視する住民もいる。	
C. 地域活性化への寄与	地域コミュニティの再生、収益事業・イベントの企画・実施、地域貢献等	休憩施設・ビューポイント整備、駐車場・遊歩道整備、アクセス道整備、情報ネットワーク・基盤整備等	10月中旬に会津地方の3つの県建設事務所と七日町通りまちなみ協議会が中心となり、周辺の地域づくり団体とネットワークを結んで、会津五街道シンポジウムや五街道ウォーキングを計画している。	10月22日のシンポジウムには約100人が参加し、23日の五街道ウォーキングには6コース合わせて約200人の参加者があった。	歴史街道を歩く五街道ウォーキングだったが、人気のあるコースとそうでないコースに分かれてしまい、調整するのに苦労した。	
D. 観光振興への寄与	観光資源の情報発信・PR、体験ツアー等の企画・実施、観光ガイドの実施等		さまざまな角度から原発事故による風評被害を払拭するための施策を官民一体となって検討し、首都圏への観光キャラバンを随時実施している。また、芸能事務所のサンミュージックプロダクションが8月28日、ノーギャラで小島よしおをはじめ8人の芸人を派遣し、鶴ヶ城本丸でライブを開催した。約2,500人の観衆を集めた。	城下町あいづ道草街道推進協議会がまとめたというよりは、パートナーシップのそれぞれの団体が独自に風評被害を払拭するための活動を展開した。サンミュージックプロダクションが所属の芸人を派遣してくれたのは七日町通りまちなみ協議会の人脈を活かしたもので、首都圏で観光キャラバンを実施したのはNPO会津連携センターだった。	会津でのイベントや首都圏での観光キャラバンは好評で、それなりの効果はあったと思うが、会津へ観光に訪れる人はまだ少なく、いまだに風評被害から脱していない。	
今年度の活動の達成度						

3. 今年度(H23)の活動による風景街道の構成要素の質の向上
今年度活動した結果を踏まえて、構成要素の現状を整理(再認識)

日本風景街道の構成要素		活動による風景街道の構成要素の質の変化	構成要素ごとの質の向上
①地域資源	景観、自然、歴史、文化、体験・交流、施設・情報	健康ブームを反映してか、歴史街道を歩くことや市街地を歩く「まち歩き」が年々盛んになってきた。会津若松においてもワンコインスイーツと日帰り温泉を組み合わせた取り組みが人気を呼んでいる。	
②活動主体	地域住民、NPO、町内会・自治会、地方公共団体、道路管理者等	会津若松においては風景街道協議会としての活動の質の向上は見られないものの、パートナーシップのなかには質の高い活動をしている団体がある。また、地方公共団体や道路管理者との連携がうまく機能している事例も見られるようになってきた。	
③活動内容	道路での活動、沿道や周辺地域での活動、道路ならびにその沿道や周辺地域での活動	繰り返すことになるが、会津は放射線量が低いとはいえ、まだ一抹の不安があるうちは道路や沿道での活動は難しいのが現状である。	
③活動の場	質の高い風景を形成する場、ドライブや散策を楽しむ場、生活し働く場等	東北復興支援の一環として実施される「東北観光博覧会」では、会津若松市においても城下町のまち歩きをメインにして展開することになった。そのために観光案内をするコンシェルジュの育成を図り、市民一人ひとりが城下町のガイド役を担うような機運を盛り上げていきたい。	
風景街道の構成要素の質の向上			

4. 来年度(H24)の活動の方針、東北風景街道協議会への要望事項等

まずはパートナーシップである構成団体の見直しといった組織のあり方を検討していきたい。その上で熟度の高いパートナーシップとの連携、地方公共団体や道路管理者との協力関係を図っていきたいと考えている。

協議会からのコメント

年次活動の記入シート

※「協議会からのコメント」以外は、PSにおいて記入してください

ルート名称: 広瀬川せせらぎ緑道

申請時の活動目的

広瀬川を活かした、まちづくり活動を通して、協働による中心市街地の活性化と景観づくりに資することを目的とする。

1. 今年度(H23)の活動のテーマ、現在の成熟度

- ・広瀬川せせらぎ緑道をまちづくりと市街地の活性化に活用する
- ・継続した景観づくりに向けた体制構築
- ・広瀬川せせらぎ緑道とまちなか博物館を中心とした、地域資源の更なる掘起こしと活用

【成熟度記入欄】

(当てはまるものに☑ を記入)

- 1. 立ち上げ段階
- 2. 継続化を目指している段階
- 3. 発展段階
- 4. 自立段階

2. 今年度(H23)の達成度

今年度の活動計画を立案し、その計画に対する活動実績を整理

	活動カテゴリー		活動の計画	活動の実績	工夫したこと・苦労したこと	達成度の評価(カテゴリー別)
	ソフト的事業 (例)	ハード的事業 (例)				
A. 多様な主体による協働の取組み	調査研究・計画策定、人材育成、連携促進・交流促進	-	・周辺地域の資源として、蔵調査の実施	・東日本大震災後の周辺地域の蔵の存続状況の調査	・前年の蔵調査データと震災後の存続状況のデータを整理し、市街地地図に所在地位置と写真をまとめた。	
B. 美しい国土景観の形成	景観形成(植栽、花植え、看板撤去等)、美化活動(清掃等)、自然環境・緑地等の保全		・環境美化活動	・毎月1回広瀬川の清掃 ・12月広瀬川街路樹選定作業	・毎月の清掃実施日を改めて設定し、広報活動を更に強化した。	
C. 地域活性化への寄与	地域コミュニティの再生、収益事業・イベントの企画・実施、地域貢献等	休憩施設・ビューポイント整備、駐車場・遊歩道整備、アクセス道整備、情報ネットワーク・基盤整備等	・よってげ市の実施 ・まちなか博物館を活用したイベント開催	・よってげ市(産直市)を毎週金曜日に開催した(11月まで) ・1/28.29 まちなか博物館1号館での蔵写真展を開催した	・蔵調査の結果をまとめた市街地地図を拡大したものと存続する蔵の中から建築的・景観的に紹介したいもの12点をA1サイズの写真パネルに展示した。12点の蔵については、所有者にヒアリングを行った。	
D. 観光振興への寄与	観光資源の情報発信・PR、体験ツアー等の企画・実施、観光ガイドの実施等		・正岡子規はて知らずの旅を迎える文学碑めぐりツアー ・はしご酒まつり	・10/20 正岡子規はて知らずの旅を迎える文学ツアーを共催した	・文学ツアーのコースの最終見学地にまちなか博物館1号館を入れ、広瀬川せせらぎ緑道周辺で文学碑の製作に関わった「和野内石材店」の足跡を写真パネルで紹介した。	
今年度の活動の達成度						

3. 今年度(H23)の活動による風景街道の構成要素の質の向上
 今年度活動した結果を踏まえて、構成要素の現状を整理(再認識)

日本風景街道の構成要素		活動による風景街道の構成要素の質の変化	構成要素ごとの質の向上
①地域資源	景観、自然、歴史、文化、体験・交流、施設・情報	「まちなか博物館1号館」の取組みと蔵調査を行ったことに起因し、近隣地域の自治体が蔵を活用したギャラリーを「まちなか博物館2号館」にしたいという取組みを開始した。	
②活動主体	地域住民、NPO、町内会・自治会、地方公共団体、道路管理者等	市とNPO団体と協働し、まちなか博物館1号館の修景実験の開催したことにより、地域住民の協力や活動への理解が得られるようになった。	
③活動内容	道路での活動、沿道や周辺地域での活動、道路ならびにその沿道や周辺地域での活動	よてっげ市の定期的な開催を行うことにより、買い物に来るお客様の動きがでてきた。	
③活動の場	質の高い風景を形成する場、ドライブや散策を楽しむ場、生活し働く場等	まちなか博物館1号館の整備とせせらぎ緑道の整備により、地域の保育園が昼間の散歩コースや夏祭りの会場として活用するようになってきた。 他団体によるクリスマス～冬季のイルミネーション装飾の取組みが継続され、せせらぎ緑道の演出効果を増している。	
風景街道の構成要素の質の向上			

4. 来年度(H24)の活動の方針、東北風景街道協議会への要望事項等

せせらぎ緑道やまちなか博物館を有効的に活用にしたイベントを他団体と協働で行えるように推進していく。
 せせらぎ緑道の美化や景観維持についても、周辺地域や企業との連携により、継続と発展を目指した取組みを発信していく。

協議会からのコメント

年次活動の記入シート

※「協議会からのコメント」以外は、PSにおいて記入してください

ルート名称: 弘前まちなか散策街道

申請時の活動目的

中心市街地の道路を1つの舞台と捉え、広場や店舗は大道具、街灯やフラッグ等は小道具、街角ライブなどは音響、ライトアップは照明、商店主は助演者・スタッフに見立てて、津軽地域の政治・経済・文化の中心都市として発展してきた本市の歴史や文化などを活用しながら、地域住民も観光客もともに共感・共鳴できる感動と交流の場を創出し、道路が秘める新たな魅力づくりを推進する。

1. 今年度(H23)の活動のテーマ、現在の成熟度

<p><道路空間の利活用事業> 道路空間をただ通り過ぎるだけの空間から、ゆっくり時間を過ごしたり、交流が出来る空間として利活用する。 <まちなか道路景観の向上(まちなかイメージアップ)> 商店街区の統一感を出し、歩いて楽しくなる雰囲気を出し出す。</p>	<p>【成熟度記入欄】 (当てはまるものに☑を記入)</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 立ち上げ段階 <input type="checkbox"/> 2. 継続化を目指している段階 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 発展段階 <input type="checkbox"/> 4. 自立段階</p>
---	--

2. 今年度(H23)の達成度

今年度の活動計画を立案し、その計画に対する活動実績を整理

	活動カテゴリー		活動の計画	活動の実績	工夫したこと・苦労したこと	達成度の評価(カテゴリー別)
	ソフト的事業 (例)	ハード的事業 (例)				
A. 多様な主体による協働の取組み	調査研究・計画策定、人材育成、連携促進・交流促進	-	様々な団体が連携し、駅前遊歩道において、マルシェ事業を開催する。 7月から12月の毎週日曜日、駅前遊歩道全域を活用した市民市場を設置	【事業主体】弘前マルシェコンソーシアム ※当PSも構成員となっている 【事業形態】弘前市委託事業 【実施場所】弘前駅前遊歩道 【内容】7月から11月の毎日曜日10時から15時まで生産農家による産直マルシェを設置。20回開催(2回中止) 総客数65,250人	農家による産直を意識しすぎたので、商品が農産物に偏り、後半ではマンネリ化も見られた。	満足いく活動が全く出来なかった ← 大変満足いく活動が出来た 1 2 3 4 5
B. 美しい国土景観の形成	景観形成(植栽、花植え、看板撤去等)、美化活動(清掃等)、自然環境・緑地等の保全		<まちなか道路景観の向上(まちなかイメージアップ)> ・統一フラッグの掲示 ・冬期間の商店街キャンドルライトアップやシンボルツリーイルミネーション実施	統一フラッグ→弘前城築城400年及び高校総体柄シンボルツリー2本のイルミネーション装飾(駅前公園、どってん広場)12月~3月 キャンドルイベント「弘前雪明り」に参加によるキャンドルライトアップの実施 2/9~2/12まで	フラッグについては市の事業として実施したため、コストがかからなかった。 キャンドルライトアップについては、当PSが雪明り実行委員会に正式に参加したことにより、より一層他団体と連携が図れた。	満足いく活動が全く出来なかった ← 大変満足いく活動が出来た 1 2 3 4 5
C. 地域活性化への寄与	地域コミュニティの再生、収益事業・イベントの企画・実施、地域貢献等	休憩施設・ビューポイント整備、駐車場・遊歩道整備、アクセス道整備、情報ネットワーク・基盤整備等	<道路空間の利活用> 道路空間に地域の交流空間を創出する。 ・したどてタ市マルシェ事業の実施 ・夏休みラジオ体操 <遊歩道愛称公募>	【したどてタ市マルシェ】 8/27から11/12毎土曜日(12回)、午後3時から午後5時まで 【遊歩道愛称募集事業】 愛称:えきどてプロムナード 一般公募(8月末~10月末) 応募数714 【ラジオ体操】夏休み駅前公園にて実施(4日)	遊歩道の愛称については、完成から10年以上も経過しており、市民にももう一度その場所を思い出してもらうために一般公募の結果、714通という、予想以上の応募があった。	満足いく活動が全く出来なかった ← 大変満足いく活動が出来た 1 2 3 4 5
D. 観光振興への寄与	観光資源の情報発信・PR、体験ツアー等の企画・実施、観光ガイドの実施等		駅前遊歩道利用促進のため、継続してイベントを実施。弘前駅から弘前公園までの観光通りとなることを目指す。	弘前マルシェのほか、りんごトラック市、上土手秋祭り(2回)、食育イベント「ベジスタ」等新しいイベントが催された。また、既存のイベントカルチャアロードなども、遊歩道と連携する形で実施された。	弘前マルシェのイメージインパクトが強すぎたので、他のイベントがかすむ傾向にあった。情報発信などの一元化が必要である。	満足いく活動が全く出来なかった ← 大変満足いく活動が出来た 1 2 3 4 5
今年度の活動の達成度	<p>満足いく活動が全く出来なかった ← 大変満足いく活動が出来た 1 2 3 4 5</p>					<p>満足いく活動が全く出来なかった ← 大変満足いく活動が出来た 1 2 3 4 5</p>

3. 今年度(H23)の活動による風景街道の構成要素の質の向上
 今年度活動した結果を踏まえて、構成要素の現状を整理(再認識)

日本風景街道の構成要素		活動による風景街道の構成要素の質の変化	構成要素ごとの質の向上
①地域資源	景観、自然、歴史、文化、体験・交流、施設・情報	弘前マルシェの出店者は市内の生産農家であり、野菜の種類や保存方法、料理法をお客さんに教えたりしながら販売しているため、体験交流の場にもなっている。	
②活動主体	地域住民、NPO、町内会・自治会、地方公共団体、道路管理者等	弘前マルシェコンソーシアムには、市、農業法人、NPO、大学等多様な参画者で組織している。また、ラジオ体操や遊歩道の取り組みでは、近隣町内会や小学校、PTA会などと連携して事業を進めた。	
③活動内容	道路での活動、沿道や周辺地域での活動、道路ならびにその沿道や周辺地域での活動	県道を使用しているストリートダンスイベントやパーレードイベント等が新しく開催され、地域住民の理解を得ながら、道路を活動の場所として使用した。	
③活動の場	質の高い風景を形成する場、ドライブや散策を楽しむ場、生活し働く場等	目標としている「活き活きとした日常」を演出するための道路活用であるが、マルシェやラジオ体操等幾つか事業を実施したが、目標達成には達していないので、更なる事業検討が必要。	
風景街道の構成要素の質の向上			

4. 来年度(H24)の活動の方針、東北風景街道協議会への要望事項等

平成24年度の活動方針については、今まで実施している事業の継続の他、市や商店街組織ではないストリートマネジメントの可能性について何処かのエリアで実施してみたい。

協議会からのコメント

年次活動の記入シート

※「協議会からのコメント」以外は、PSIにおいて記入してください

ルート名称: 越後米沢街道・十三峠

申請時の活動目的
風景街道の一環として、山形県置賜地方と新潟県下越地方結ぶ重要な街道であった「越後米沢街道」を文化的・歴史的な資源として保存整備し、さらなる活用を図るために必要な調査を行うことを目的とする。

1. 今年度(H23)の活動のテーマ、現在の成熟度

越後米沢街道十三峠交流会は平成20年度より活動が始まり、4年目を迎えたものですが、実質「諏訪」「宇津」「黒沢」「萱野」「大里」の5峠において交流促進活動が展開されておりますが、その他の峠は、十分な組織や活動が展開されているとはいえず、十三の峠全てに組織や活動が展開されることが目標となっています。
設立4年目となる本年の重点的な事業として①ボランティアガイド学習会 ②地域資源マップの作成 ③情報発信の充実(ホームページの更新・会報「十三峠」の発行)④定期的な情報交換を行うこととしています。

【成熟度記入欄】
(当てはまるものに☑を記入)

1. 立ち上げ段階
 2. 継続化を目指している段階
 3. 発展段階
 4. 自立段階

2. 今年度(H23)の達成度 今年度の活動計画を立案し、その計画に対する活動実績を整理

	活動カテゴリー		活動の計画	活動の実績	工夫したこと・苦労したこと	達成度の評価(カテゴリー別)
	ソフト的事業 (例)	ハード的事業 (例)				
A. 多様な主体による協働の取組み	調査研究・計画策定、人材育成、連携促進・交流促進	-	①地域資源の調査・データベース化 ②新マップの作成 ③機関誌「十三峠」の発行 ④定期的な情報交換 ⑤(仮称)十三峠資料館構想	①データベースについては、事務局が県の委託事業で資料収集ととりまとめを行った。②新マップについては資料収集は完了したが予算がなく作成を断念した。 ③機関誌「十三峠」を7～10号を発行した。 ④定期的な情報交換を行った。	本年度の特筆事項として、交流会事務局のNPO法人「ここ掘れ和ん話ん探検隊」が県の委託事業によって越後米沢街道・十三峠周辺の地域資源のデータベース化がなされました。これらの成果を今後の活動にどのように生かしていくかが課題となっている。	満足いく活動が全く出来なかった ← 大変満足いく活動が出来た 1 2 3 4 5
B. 美しい国土景観の形成	景観形成(植栽、花植え、看板撤去等)、美化活動(清掃等)、自然環境・緑地等の保全	-	①街道の清掃整備活動(各峠年数回づつ) ②未開発峠の調査活動 ③萱野峠の敷石復興活動(1回)	①街道の清掃整備活動(各峠年数回づつ) ②未開発峠の調査活動(事務局で実施) ③萱野峠の敷石復興活動(1回)	各峠では保存会等が整備清掃活動にあっているがほとんどボランティアで行われている。未開発峠については事務局の受託事業の中で相当すすんだ。萱野峠の敷石復興事業として労力や事業費が必要になっている。	満足いく活動が全く出来なかった ← 大変満足いく活動が出来た 1 2 3 4 5
C. 地域活性化への寄与	地域コミュニティの再生、収益事業・イベントの企画・実施、地域貢献等	休憩施設・ビューポイント整備、駐車場・遊歩道整備、アクセス道整備、情報ネットワーク・基盤整備等	①各峠のイベント(主にトレッキング) ②十三峠カレンダーの作成 ③ホームページの更新	①各峠保存主体によるイベント(ウォーキングや保存活動)の開催 ②ホームページの更新を継続している	毎年各峠独自のイベントが開催しており年々参加者も増加しているが、会員の高齢化により、事業実施や受入継続化に不安のある団体も始めている。カレンダー等のグッズも作成予定であったが予算不足により断念した。HPは都度更新しているが頻度が鈍い。	満足いく活動が全く出来なかった ← 大変満足いく活動が出来た 1 2 3 4 5
D. 観光振興への寄与	観光資源の情報発信・PR、体験ツアー等の企画・実施、観光ガイドの実施等	-	①案内看板や道標の作成 ②ボランティアガイド学習会 ③ボランティアガイド視察研修事業	①事務局が受けた県からの事業の中で各峠には「里程標」「史跡説明板」「パンフレット箱」等も整備いたしました。 ②ボランティアガイド学習会については9月と12月に2回実施しました。 ③視察研修事業は実施できませんでした。	これまでの各峠の会員や来訪者の意見から「里程標」「史跡説明板」等の整備は予算が伴うため、この度の委託でようやく実現したものです。今後の活動の励みになるものです。ガイド養成学習会では、具体的な地域資源とその伝え方をご指導をいただいた。	満足いく活動が全く出来なかった ← 大変満足いく活動が出来た 1 2 3 4 5
今年度の活動の達成度	<p>満足いく活動が全く出来なかった ← 大変満足いく活動が出来た</p> <p>1 2 3 4 5</p>					

3. 今年度(H23)の活動による風景街道の構成要素の質の向上
今年度活動した結果を踏まえて、構成要素の現状を整理(再認識)

日本風景街道の構成要素		活動による風景街道の構成要素の質の変化	構成要素ごとの質の向上
①地域資源	景観、自然、歴史、文化、体験・交流、施設・情報	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度は事務局のNPO法人「ここ掘れ和ん話ん探検隊」が県の受託事業により、越後米沢街道十三峠沿線の景観、自然、歴史、文化、体験・交流、施設・観光情報等の地域資源をとりまとめた。このことにより、より具体的に風景街道の要素が明らかになったためこの成果をどのように生かしていくかが課題であり、今後の活動の展望であると考えられる。 ●また、本年度は各峠の地域資源の発掘のために、特に各自治体や各観光協会等の連携がみられた。今後は、交流や体験の受入のために、より自治体や峠の枠を越えて具体的なメニューを研究する必要がある。そのことに伴い、ボランティアガイドなどの人的資源の育成について具体的に計画的にすすめる必要があることも確認された。 	<p>全く質が向上していない ←→ 大いに質が向上した</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>5</p>
②活動主体	地域住民、NPO、町内会・自治会、地方公共団体、道路管理者等	<ul style="list-style-type: none"> ●本年度は交流会の事務局である山形県小国町のNPO法人「ここ掘れ和ん話ん探検隊」が、越後米沢街道・十三峠を山形県の重要な地域資源であるとの認識にたち、「歴史街道・十三峠観光資源活用事業」を県から受託できたことは特筆できるものとして評価している。このことは、交流会発足以来の活動や取組の成果であり、当交流会はもとより各峠組織においても今後の活動の励みになるものである。 ●特に今年度は新潟県関川村に「米沢街道地域づくり検討会」が発足しており、越後米沢街道・十三峠を地域の宝物としてその歴史と文化を生かしたまちづくりを行う団体が出来、交流会の構成団体にもなっている。 ●山形県飯豊町添川地区(諏訪峠飯豊町側)にも越後米沢街道・十三峠の勉強会組織が立ち上がり、諏訪峠とイザベラ・バードによる地域づくりがすすめられている。 	<p>全く質が向上していない ←→ 大いに質が向上した</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>4</p>
③活動内容	道路での活動、沿道や周辺地域での活動、道路ならびにその沿道や周辺地域での活動	<ul style="list-style-type: none"> ●当交流会が発足以来、各峠の地域住民が、街道の管理やイベントの参加する割合が多くなっている。 ●特に諏訪峠(県道飯豊川西線)では隣接する飯豊町と川西町の両保存団体が独自に「PR旗」を作成し、峠のPRを行っており、道路の頂上部(峠)に賑わいをつくらせている。 	<p>全く質が向上していない ←→ 大いに質が向上した</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>4</p>
③活動の場	質の高い風景を形成する場、ドライブや散策を楽しむ場、生活し働く場等	<ul style="list-style-type: none"> ●各峠において、その特徴や特殊性を活かすイベント等が継続されており、街道沿線の自然景観にふれあう客も増えている。とくに「いにしへの敷石道黒沢峠」には、相当の客が入るようになってきており、四季を通じたりピーターも多い。 ●また、街道の3自治体(飯豊・小国・関川)に道の駅があり、案内機能や連絡機能についても連携する必要が確認されている。その意味でも2県3町1村のご理解とご支援がどうしても必要であり、関係団体とともに地域活性化と沿線地域のむらづくり事業としても非常に有効な組織であることをPRしていきたいと考えている。 	<p>全く質が向上していない ←→ 大いに質が向上した</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>3</p>
風景街道の構成要素の質の向上		<p>全く向上していない ←→ 大いに質が向上した</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>4</p>	

4. 来年度(H24)の活動の方針、東北風景街道協議会への要望事項等 各街道の構成団体や事業内容をお知らせいただきたい。

地域資源の発信手法の充実、(十三峠)パンフレットの作成、地域資源データベースの活用)平成23年度に地域資源マップの原稿や素材が整備されたため、平成24年度は新パンフレットを作成したい。団体等への支援補助事業や各自治体及び観光協会等の支援事業に取り入れていただくようお願いしていきたいと考えている。
【協議会への要望事項】国交省及び東北風景街道会議へは、今後の交流の拡大のため、「案内標識を必要とする設置箇所」を選定し提出しているところであるが、PSが管理する国道113号への設置についてご配慮いただきたい。また、道の駅に案内看板設置をお願いしたい。(補助等でなく日常業務の中でも結構ですので是非ともお願いしたい)

協議会からのコメント

年次活動の記入シート

※「協議会からのコメント」以外は、PSにおいて記入してください

ルート名称: 釜石「鉄のみち」

申請時の活動目的

地域団体と連携し、近代製鉄に係る産業遺産とそれを支えた街道景観の保全と地域ツーリズムビジネスの振興により地域の活性化に寄与する。

1. 今年度(H23)の活動のテーマ、現在の成熟度

釜石市の橋野高炉跡の世界遺産登録へ向けた活動への協力(橋野高炉跡は釜石「鉄のみち」の有力な史跡である)。
ただし、パートナーである岩手県沿岸広域振興局及び釜石市は、東日本大震災で甚大な被害を受けているため、風景街道に関わる具体的な活動が困難な状況にあり、状況を見ながら進めたい。

【成熟度記入欄】

(当てはまるものに☑を記入)

- 1. 立ち上げ段階
- 2. 継続化を目指している段階
- 3. 発展段階
- 4. 自立段階

2. 今年度(H23)の達成度

今年度の活動計画を立案し、その計画に対する活動実績を整理

	活動カテゴリー		活動の計画	活動の実績	工夫したこと・苦労したこと	達成度の評価(カテゴリー別)
	ソフト的事業 (例)	ハード的事業 (例)				
A. 多様な主体による協働の取組み	調査研究・計画策定、人材育成、連携促進・交流促進	-	(現在のところ未定、状況を見ながら進めたい。)	・今回の震災を受けて、被災地支援団体の受入、特に宿泊施設が不足したため、中山間地に在る古民家の活用の可能性について調査 ・パートナーシップの拡大	・古民家活用について、トイレ・台所等の改修費用や民泊の運営主体等、さらに企画サイドの時間等の課題で、実現に至らなかった。 ・新規のPSについては、栗橋地区まちづくり会議が参加	
B. 美しい国土景観の形成	景観形成(植栽、花植え、看板撤去等)、美化活動(清掃等)、自然環境・緑地等の保全		(現在のところ未定、状況を見ながら進めたい。)	なし		
C. 地域活性化への寄与	地域コミュニティの再生、収益事業・イベントの企画・実施、地域貢献等	休憩施設・ビューポイント整備、駐車場・遊歩道整備、アクセス道整備、情報ネットワーク・基盤整備等	(現在のところ未定、状況を見ながら進めたい。)	PS(岩手県、釜石市が参加している実行委員会が、仙人峠マラソン大会開催。約1,000名参加)		
D. 観光振興への寄与	観光資源の情報発信・PR、体験ツアー等の企画・実施、観光ガイドの実施等		(現在のところ未定、状況を見ながら進めたい。)	なし		
今年度の活動の達成度						

3. 今年度(H23)の活動による風景街道の構成要素の質の向上 今年度活動した結果を踏まえて、構成要素の現状を整理(再認識)			
日本風景街道の構成要素		活動による風景街道の構成要素の質の変化	構成要素ごとの質の向上
①地域資源	景観、自然、歴史、文化、体験・交流、施設・情報	特になし	<p>全く質が向上していない ←→ 大いに質が向上した</p> <p>① 2 3 4 5</p>
②活動主体	地域住民、NPO、町内会・自治会、地方公共団体、道路管理者等	特になし	<p>全く質が向上していない ←→ 大いに質が向上した</p> <p>① 2 3 4 5</p>
③活動内容	道路での活動、沿道や周辺地域での活動、道路ならびにその沿道や周辺地域での活動	風景街道ルートである国道283号の旧道をコースとしてマラソン大会が実施され、運営に当たって地域の住民がボランティアで参加。	<p>全く質が向上していない ←→ 大いに質が向上した</p> <p>1 2 ③ 4 5</p>
③活動の場	質の高い風景を形成する場、ドライブや散策を楽しむ場、生活し働く場等	特になし	<p>全く質が向上していない ←→ 大いに質が向上した</p> <p>① 2 3 4 5</p>
風景街道の構成要素の質の向上		<p>全く向上していない ←→ 大いに質が向上した</p> <p>② 3 4 5</p>	

4. 来年度(H24)の活動の方針、東北風景街道協議会への要望事項等

来年度の活動方針 被災地復興にあたっては、多くの方々との交流・連携がひとつの要素であり、その支援に係る活動をしたい。(具体的には、今後検討予定)

協議会からのコメント

年次活動の記入シート

※「協議会からのコメント」以外は、PSIにおいて記入してください

ルート名称: 十和田奥入瀬浪漫街道

申請時の活動目的

十和田湖・奥入瀬溪流の自然が織りなす美しい景観をより惹き立て、豊かな自然の恵みによって得られる食や温泉、自然体験を通じた癒しの時間を誰もが風景の感動とともに味わえる街道づくりを目指すものである。

1. 今年度(H23)の活動のテーマ、現在の成熟度

今年度は今まで選定したビューポイントの景観支障木を伐採し、地元の上北県民局のご支援を得て、駐車帯を整備していきたい。また、十和田奥入瀬流	【成熟度記入欄】 (当てはまるものに☑を記入) <input type="checkbox"/> 1. 立ち上げ段階 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 継続化を目指している段階 <input type="checkbox"/> 3. 発展段階 <input type="checkbox"/> 4. 自立段階
--	--

2. 今年度(H23)の達成度

今年度の活動計画を立案し、その計画に対する活動実績を整理

	活動カテゴリー		活動の計画	活動の実績	工夫したこと・苦労したこと	達成度の評価(カテゴリー別)
	ソフト的事業 (例)	ハード的事業 (例)				
A. 多様な主体による協働の取組み	調査研究・計画策定、人材育成、連携促進・交流促進	-	・景観阻害木の伐採 ・十和田奥入瀬浪漫街道ガイド養成講座	・ルート内2ヶ所伐採 ・13人のガイド認定 (11/17・11/24)	・大木もあり、伐採が大変だった。 ・受講者の募集	満足いく活動が全く出来なかった ←→ 大変満足いく活動が出来た 1 2 3 ④ 5
B. 美しい国土景観の形成	景観形成(植栽、花植え、看板撤去等)、美化活動(清掃等)、自然環境・緑地等の保全		・国道102号花植え ・休耕地にコスモス栽培 ・休耕地にヒマワリ栽培	・4ヶ所の休耕地を借用して栽培。	・水田のため排水に苦労した。	満足いく活動が全く出来なかった ←→ 大変満足いく活動が出来た 1 2 ③ 4 5
C. 地域活性化への寄与	地域コミュニティの再生、収益事業・イベントの企画・実施、地域貢献等	休憩施設・ビューポイント整備、駐車場・遊歩道整備、アクセス道整備、情報ネットワーク・基盤整備等	・ビューポイント整備 ・景観フォーラム開催	・セミナーを3月14日実施予定	・少ない予算でどのように実施するか	満足いく活動が全く出来なかった ←→ 大変満足いく活動が出来た 1 2 ③ 4 5
D. 観光振興への寄与	観光資源の情報発信・PR、体験ツアー等の企画・実施、観光ガイドの実施等		・奥入瀬溪流エコロードフェスタ	・10/29・10/30実施。 ・ボランティアガイドウォーク	・バス代を県の方で負担してくれたので無料にできた。	満足いく活動が全く出来なかった ←→ 大変満足いく活動が出来た 1 2 ③ 4 5
今年度の活動の達成度	満足いく活動が全く出来なかった ←→ 大変満足いく活動が出来た 1 2 ③ 4 5					

3. 今年度(H23)の活動による風景街道の構成要素の質の向上
 今年度活動した結果を踏まえて、構成要素の現状を整理(再認識)

日本風景街道の構成要素		活動による風景街道の構成要素の質の変化	構成要素ごとの質の向上
①地域資源	景観、自然、歴史、文化、体験・交流、施設・情報	2ヶ所のビューポイントの景観阻害木を伐採することができた。今後も継続していきたい。	全く質が向上していない ←→ 大いに質が向上した 1 2 ③ 4 5
②活動主体	地域住民、NPO、町内会・自治会、地方公共団体、道路管理者等	十和田奥入瀬浪漫街道の事務局であるNPO十和田奥入瀬郷づくり大学が中心となり、道路管理者、市町村、観光協会など42団体で構成されている。	全く質が向上していない ←→ 大いに質が向上した 1 2 ③ 4 5
③活動内容	道路での活動、沿道や周辺地域での活動、道路ならびにその沿道や周辺地域での活動	NPO法人では、奥入瀬浪漫街道ガイド養成講座、ボランティアガイドウォークなどを実施できた。国道102号沿いの約1.3kmの花壇に地域住民と一緒にサルビア・アジサイ・ラベンダーを植えることができた。	全く質が向上していない ←→ 大いに質が向上した 1 2 ③ 4 5
③活動の場	質の高い風景を形成する場、ドライブや散策を楽しむ場、生活し働く場等	ビューポイントに休憩したり、写真を撮ったりする駐車帯を計画していたが、上北地域県民局の予算で整備できた。	全く質が向上していない ←→ 大いに質が向上した 1 2 3 ④ 5
風景街道の構成要素の質の向上		全く向上していない ←→ 大いに質が向上した 1 2 ③ 4 5	

4. 来年度(H24)の活動の方針、東北風景街道協議会への要望事項等

ビューポイントの景観阻害木の伐採を継続して実施する。国道沿いにアジサイを植える。

協議会からのコメント

年次活動の記入シート

※「協議会からのコメント」以外は、PSにおいて記入してください

ルート名称: 黄花草の東むつ湾ルート

申請時の活動目的

・地域の人々が誇りを持ち、訪れる人々に青森らしさを感じさせる県の顔となる景観造りを推進する。

1. 今年度(H23)の活動のテーマ、現在の成熟度

・沿道の植栽活動・清掃活動。
・観光名所やビューポイントなど休憩所の整備。
・地域の自然、歴史、文化の保護活動。

【成熟度記入欄】
(当てはまるものに☑ を記入)

- 1. 立ち上げ段階
- 2. 継続化を目指している段階
- 3. 発展段階
- 4. 自立段階

2. 今年度(H23)の達成度

今年度の活動計画を立案し、その計画に対する活動実績を整理

	活動カテゴリー		活動の計画	活動の実績	工夫したこと・苦労したこと	達成度の評価(カテゴリー別)
	ソフト的事業 (例)	ハード的事業 (例)				
A. 多様な主体による協働の取組み	調査研究・計画策定、人材育成、連携促進・交流促進	-	・地域の小学生と野外体験活動 ・夜観菜会の実施(地域交流促進)	・5月2日南部小学校全校生徒と国道279号沿いの花壇に菜の花を移植 ・5月17日横浜小学校4年生野外体験活動実施(へちま植え) ・5月21日夜観菜会を開催	・昨年度末から地域の小学校野外体験活動の一環として、3月小学校の卒業式に菜の花のプランターを設置・コサージュをプレゼント。菜の花で卒業生を送り出すことができた。	
B. 美しい国土景観の形成	景観形成(植栽、花植え、看板撤去等)、美化活動(清掃等)、自然環境・緑地等の保全		・海岸の清掃 ・地域の老人会と植栽活動 ・立体花壇の製作と設置	・4月9日立体花壇設置完了 ・4月16日むつ湾東美浜推進DAYに参加 ・4月27日大豆田老人クラブと国道279号沿い大豆田ゆりの駐車帯に植栽活動 ・7月8日黄花草の東むつ湾ルート共同事業海岸清掃実施	・7月8日黄花草の東むつ湾ルート共同事業海岸清掃は、野辺地観光協会と日程を調整しながら、他の団体も巻き込んで行うことができた。次回、運搬用トラックやゴミ処分の問題も検討中です。	
C. 地域活性化への寄与	地域コミュニティの再生、収益事業・イベントの企画・実施、地域貢献等	休憩施設・ビューポイント整備、駐車場・遊歩道整備、アクセス道整備、情報ネットワーク・基盤整備等	・3.11東北大震災被災者支援ボランティア活動(石巻専修大学) ・菜の花散策MAP発行等	・4月12日 3.11東北大震災被災者支援ボランティア活動、石巻専修大学にて東日本大震災被災者及びボランティアへの炊き出しを実施 ・5月14日菜の花散策MAP5000部発行	・3.11東北大震災被災者支援ボランティア活動では、物資を運ぶ輸送手段がなくレンタカーのトラックを使って現地へ向かった。現地では水の調達ができないため、大変でしたが喜んでいただき苦労が報われた。	
D. 観光振興への寄与	観光資源の情報発信・PR、体験ツアー等の企画・実施、観光ガイドの実施等		・「菜種刈り」体験の実施 ・「菜種まき」体験の実施	・7月25日ふらっと下北企画「14歳の挑戦」菜種刈り・菜種打ち体験の実地 ・8月20日「青森県留学交流国際ジャンボリー」菜種まき体験実施	・ふらっと下北企画「14歳の挑戦」菜種刈り体験では、長靴をはいて鎌を使った農作業なので、ケガをしないよう安全に心がけ作業指導をした。	
今年度の活動の達成度						

3. 今年度(H23)の活動による風景街道の構成要素の質の向上
今年度活動した結果を踏まえて、構成要素の現状を整理(再認識)

日本風景街道の構成要素		活動による風景街道の構成要素の質の変化	構成要素ごとの質の向上
①地域資源	景観、自然、歴史、文化、体験・交流、施設・情報	<ul style="list-style-type: none"> ・景観・・・毎年、東むつ湾の自然環境が漂着ゴミ等によって汚れている。地域の豊かな自然環境を取り戻すために清掃活動を行うことで地域の魅力を再認識することができた。 ・体験・交流・・・横浜町の菜の花を守り育てる活動を実施、7月には菜種刈り・菜種打ち収穫体験9月には菜種まき体験、これらの体験活動を通じて県内の中学生や県外の大学生一般社会人との交流をはかる事ができた。 	<p>全く質が向上していない ←————→ 大いに質が向上した</p> <p>1 2 3 4 5</p>
②活動主体	地域住民、NPO、町内会・自治会、地方公共団体、道路管理者等	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度7月に「黄花草の東むつ湾ルート」合同プロジェクト海岸清掃では、野辺地観光協会と連携して他の団体や地元NPOにも参加を募り東むつ湾の清掃活動ができた。しかし行政との連携はうまくとれていない。 	<p>全く質が向上していない ←————→ 大いに質が向上した</p> <p>1 2 3 4 5</p>
③活動内容	道路での活動、沿道や周辺地域での活動、道路ならびにその沿道や周辺地域での活動	<ul style="list-style-type: none"> ・国道279号沿いの植栽活動 道の駅よこはま前交差点に立体花壇の製作設置 大豆田ゆりの駐車帯では花壇の植栽活動 第四田名部街道踏切の駐車帯でははまなすの植栽整備 沿道の景観には貢献している。 	<p>全く質が向上していない ←————→ 大いに質が向上した</p> <p>1 2 3 4 5</p>
③活動の場	質の高い風景を形成する場、ドライブや散策を楽しむ場、生活し働く場等	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年5月に横浜町では黄色い菜の花が咲きます。県内外から訪れる観光客に楽しんでもらえる様、国道279号バイパス沿い左右に植栽することで、質の高い風景を形成することができた。また今年5月に「菜の花散策MAP2011」を5000部発行、訪れる観光客に菜の花畑や周辺施設を案内することができた。 	<p>全く質が向上していない ←————→ 大いに質が向上した</p> <p>1 2 3 4 5</p>
風景街道の構成要素の質の向上		<p>全く向上していない ←————→ 大いに質が向上した</p> <p>1 2 3 4 5</p>	

4. 来年度(H24)の活動の方針、東北風景街道協議会への要望事項等

【H24年度活動方針】 国道279号沿いの景観を磨き上げ、行政や地域住民を巻き込んだ活動を目指したい。
【協議会への相談内容】 地元行政・企業・法人などパートナーシップの連携がうまくいっている事例があれば紹介してほしい。

協議会からのコメント